

2023年度 支援活動報告書

2023年度は、7月に発生した大雨による水害対応として「山口県美祢市」、「福岡県久留米市」での活動を実施した他、9月に発生した台風13号によって被災した「福島県いわき市」での活動を行うなど、夏以降水害に対する活動を主として行いました。

その後、1月1日に発生した「能登半島地震」に対し、「石川県輪島市」、「富山県氷見市」を中心として活動を開始、輪島市内に拠点を設け、継続した支援に当たっています。

1. 活動概要

(1) 活動地域と実績

(表1)

	災害名称	活動期間	活動日数	活動地域	延べ対応 ニーズ数	主な活動内容	延べ活動者数
1	令和5年6月29日からの大雨	7月4日～ 7月23日	18日	山口県美祢市	-	災害VC運営支援 床下処置	24名
2	令和5年7月豪雨	7月11日～ 10月12日	80日	福岡県久留米市	139件	土砂・瓦礫撤去 床下処置 家屋応急修理	595名
3	台風13号	10月18日～ 11月21日	26日	福島県いわき市	26件	床下処置 家屋応急修理	54名
4	能登半島地震	1月4日～ 3月31日	83日	石川県輪島市 富山県氷見市	173件	瓦礫撤去 貴重品取出し 物資・避難所支援	572名
		計	207日	-	338件		1,245名

2. 各被災地での活動内容

(1) 令和5年6月29日からの大雨 山口県美祢市

① 活動内容

- ・ 災害VC運営支援
- ・ 床下処置 等

② 活動の経緯・詳細等

隣県で発生し、かつ過去の災害で繋がりのある職員が美祢市社会福祉協議会にいたことから、主に災害VCの運営支援、床下からの土砂出し等の活動を実施しました。

美祢市では、2010年にも豪雨や土砂災害による被害を受け、災害VCの設置をはじめ、地域での復旧・復興活動が行われていたこともあり、当時の経験を持つ職員等が積極的な活動を実施していました。

一方、2010年に比べ被害は広域且つ大規模になっていたこと、地域の高齢化、少子化が進んでいた点など、当時と異なる点も多く、外部からの応援を活かした形での活動が実施できるよう、災害VCでのボランティアコーディネート、床下等の活動についてサポートすることで、少しでも早い生活再建への協力を行っています。

(2) 令和5年四月豪雨 福岡県久留米市

① 活動内容

- ・ 重機を活用した土砂の撤去等
- ・ ダンプ、軽トラックを活用した土砂、瓦礫の搬出/引越し支援
- ・ 床下からの土砂だし、消毒等処置等
- ・ 家屋再生に向けたカビ対策、壁の処置等

② 活動の経緯・詳細等

7月10日(月)からの大雨の影響で、福岡県では久留米市をはじめ複数の市町で大きな被害が発生しました。コミサポひろしまは、会員のうち1名が久留米市田主丸在住であり、自宅が被災するとともに、周辺地域も大きな被害を受けたため、翌11日(火)に代表が現地入りし活動を開始しました。

活動は被害が大きかった田主丸地区を中心とし、当初は地域を歩きながら家財の搬出等、その場で必要とされる活動を臨機応変に実施する形となりました。

その後、主に家屋再生に向けた床下の土砂出し、カビの除去等を中心として活動を行うとともに、関係団体とも協力して福祉的支援が必要な被災者への支援も実施しました。

9月以降は公民館・集会所等、コミュニティ再生に必要なスペースの再建に向け活動を行う他、各連携団体と擦り合わせを行いながら、最後の1件まで対応することを心掛けて活動を実施しました。

結果、農地や防火槽からの土砂出し、石垣の復旧等の多様な活動を行い、10月10日(火)を持ってすべてのニーズへの対応を終えました。

なお、11月、12月には地域で再開したサロン活動のサポートを行うなど、その後も継続した支援を計画していましたが、1月1日の能登半島地震の発生により計画を変更し活動を終了しました。

③ 活動写真

(災害廃棄物の搬出)



(床下からの土砂出し)



(重機を活用した土砂の撤去)



(地元ボランティアへの知見の共有)



(3) 台風13号 福島県いわき市

① 活動内容

- ・ 家屋再生に向けたカビ対策、壁の処理等
- ・ 荷物の搬出、生活空間の簡易修理等

② 活動の経緯・詳細等

7月豪雨で被災した久留米市田主丸地区での活動が収束したこと、また、現地はすでに冬を迎えようとする中で、1日でも早い生活再建に向けた道筋をつけることが求められることから、急遽、同地域での活動を決定し、10月18日に栃木県高萩市での活動を1件実施した後、すでに活動をする連携団体と協働でいわき市で活動を行いました。

主な活動としては、カビ対策のための床、壁処理、処理後の床や壁のコンパネ養生、断熱シート（プチプチ）の設置等が中心となりました。

また、活動終盤には、地元団体である「災害支援ネットワークいわき」「地元有志消防士によるチーム」に対して、作業工程や活動に係る安全管理等、出来る限り地元へ技術や経験を残し、地元が主体で今後も対応できるよう引継ぎに力を入れての活動となりました。

③ 活動写真

(連携団体と協働での床下の処置)



(地元有志への壁はりのアドバイス)



(水に浸かった壁の処置)



(強風で被害を受けた屋根の応急修理)



(4) 能登半島地震 石川県輪島市および富山県氷見市

① 活動内容

- ・ 被災地への物資支援、避難所の環境整備等
- ・ 重機を活用した瓦礫の除去、倒壊危険家屋の撤去
- ・ 倒壊家屋からの貴重品、大切なモノの取り出し
- ・ 災害VCの運営支援、ボランティアコーディネート 等

② 活動の経緯・詳細等

発災直後、スタッフ内で緊急に協議を行い、活動可能なスタッフから現地に向かい支援を始めました。現地では道路や水道等、インフラに甚大な被害が出ていた他、孤立集落等も多く十分な情報を得ることは難しい状況でしたが、まずは物資運搬等を行いながら現地を調査し、石川県輪島市に拠点を設けることとなりました。

また、別途スタッフ1名は富山県内の関係者からの要望を受け、氷見市での災害VC運営を中心とした活動も並行して実施しました。

倒壊した建物が道路を塞ぎ、余震等でいつ倒れるか分からない建物なども多くある他、水や電気も不通な時期が数か月続くなど、これまでにない難しい環境での活動となりましたが、輪島市社会福祉協議会とも十分に連携し、「可能なことは全て対応する」活動となりました。

特に、2月以降は倒壊家屋からの貴重品、大切なモノの取り出しなど、危険が伴う中での日々となりましたが、被災者やその家族の想いなどに触れ、安全対策を行いながら1つでも多くのモノを救い出す活動が続きました。

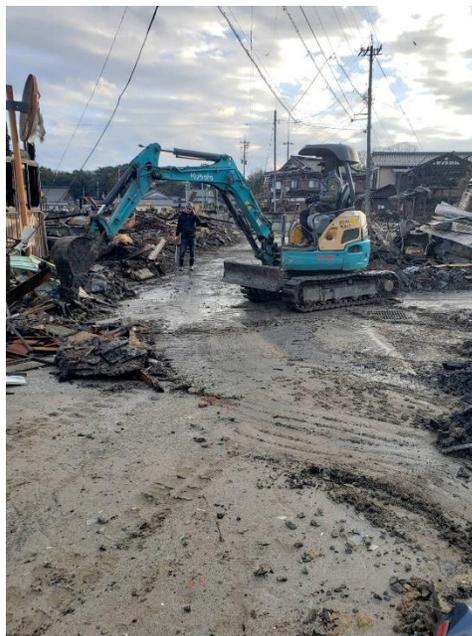
※ 4月以降も活動は継続し、屋根の応急修理、一部家屋の修繕等も行う他、2024年12月までの活動を3月に決定しましたが、9月下旬に発生した大雨による水害を受け、更に延長して活動を実施中です。

③ 活動写真

(発災直後、支援物資の搬送)



(瓦礫撤去と道路啓開の実施)



(倒壊危険家屋等の撤去)



(倒壊家屋内からの大切なモノの取出し)



(危険なブロック塀等の撤去)



(自動車の救出)



3. 寄付金の使途について

皆さまからのご寄付大変ありがとうございます。NIPPON ITチャリティ駅伝様からは、1,000,000円のご寄付を頂き、頂いた寄付金は全て能登半島地震支援のための活動に充てさせて頂いています。

(支出内訳)

	項目	金額 (円)
1	旅費交通費	268,470
2	消耗品費 (工具、活動にかかる消耗品等)	294,320
3	備品費 (ポータブル電源)	129,800
4	燃料費	109,833
5	拠点借上げ費 (スタッフ、ボランティア宿泊所設置に係る電気工事等)	187,000
6	雑費 (食材費等)	10,972
	支出計	1,000,395

4. ご支援頂いたみなさまへ

この度は、コミサポひろしまへのご支援ありがとうございました。

夏の豪雨支援が終わり、ホッと一息ついたのも束の間。まさか、1月1日にあのような大地震が起こると思ってもおらず、突然の状況にスタッフ一同、これから被災地で起こるであろう状況を思うと居ても立っても居られず、とにかく出来る限り早く被災地に向かうこととなりました。

地割れや倒壊した家屋、いち早く輪島市内に拠点は設けたものの、夜になると明り1つ見いだせない被災地での活動は非常に厳しいものでしたが、何よりそこで生活続ける地域の皆さんの現状に、歯がゆい思いを何度もしました。

それでも、休みの度にボランティアに帰ってくる地元出身の若者、何とか前に進もうとする住民さん、外部から応援に来てくれる多くのボランティア、そして、被災地に気持ちを寄せて支援をして下さるみなさまの応援があり、今も能登で活動続けることが出来ています。

みなさまからの応援を支えに、少しでも地域とそこに暮らす皆さんが先に進めるよう、コミサポひろしまは、現地で生活する1人1人にしっかり目をむけながら活動を継続していきますので、これからも応援よろしく願いいたします。